

EA21 環境活動レポート

2021年度版

《2021年2月～2022年1月》



株式会社 石崎製作所

発行日：2022年3月18日

作成：菊田源博・野上英明



株式
会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

I 事業活動の概要

事業所名： 株式会社 石崎製作所

代表取締役： 石崎 一徳

所在地： 本社
東京都台東区今戸1丁目5番19号
TEL03-3871-1861 FAX03-3874-8620

環境事務局： 野上 英明

連絡先： TEL:03-3871-1861 FAX:03-3874-8620
e-mail:nogami@ishizaki-ss.com

事業概要： 金属・樹脂を使用した建築金物関連部品、
住宅設備関連部品、電気器具関連部品等の製造

事業規模： 資本金 1,000万円
社員数 30名

事業所数:2カ所
本社
東京都台東区今戸1丁目5番19号
TEL03-3871-1861 FAX03-3874-8620

茨城工場
茨城県小美玉市部室1199-12
TEL0299-48-0273 FAX0299-48-0388

対象範囲：全組織、全事業所

認証登録日：2014年3月25日

認証登録番号：0009981



株式会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

株式会社石崎製作所 環境経営組織図

作成日: 2021年2月1日

代 表 者
石 崎 一 徳

環 境 事 務 局
野 上 英 明

本 社

茨 城 工 場

電力使用量削減
前川学

軽油使用量削減
久野政昭

廃棄物削減
根本憲一

化学物質使用量削減
高田政行

代表者:	基本方針の策定、見直し及び全従業員への周知 効果的な実施体制を構築する 環境管理組織の指名 代表者による全体の取り組みの評価と見直し 課題とチャンスの明確化 環境活動レポートの承認
環境事務局:	EA21の統括、代表者への報告。EA21環境会議実施、環境活動レポートの作成 環境管理責任者を兼務とする EA21の維持、管理、データ集計。
電力使用量削減担当者:	削減の為の方法の検討。
軽油使用量削減担当者:	軽油使用量の集計、報告。削減の為の方法の検討。
廃棄物削減担当者:	削減の為の方法の検討。
化学物質使用削減担当者:	化学物質使用量の集計、報告。削減の為の方法の検討。
全従業員:	環境経営計画達成の為に必要な取り組みを実施する



株式会社 石 崎 製 作 所
東京都台東区今戸1-5-19
tel: 03-3871-1861
fax: 03-3874-8620



Ⅱ 環境保全方針

環境保全方針

《 基本理念 》

(株)石崎製作所は事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を考え、環境にやさしい製品作りに重点を置き、得意先様ひいては社会に貢献することを目標とし、環境保全に努めるものとする。

《 基本方針 》

1.次の環境保全の重要項目に対して環境目標を設定し取組み、環境経営の継続的改善を行い必要があれば見直しを行います。

- ① 二酸化炭素排出量削減(電力、燃料消費の削減)
- ② 廃棄物の排出抑制と適正処理(一般廃棄物及び産業廃棄物排出量の削減)
- ③ 化学物質使用量の削減
- ④ 水使用量の削減
- ⑤ 環境に配慮された製品の提案と製造
- ⑥ 社員の技術力向上と5S活動による社員の意識改善

2、環境関連の法規則、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

3、この環境保全方針を全従業員に周知し環境教育活動を推進します。

改訂:2019年4月5日

株式会社 石崎製作所
代表取締役 石崎一徳



株式会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

III 環境目標と実績

① 目標達成状況

※基準年は2020年2月～2021年1月

《 全 社 》

取り組み項目	基準年(2020年度実績)	2021年度目標	2021年度実績
CO2排出量削減 ①+② (CO2) (kg-CO2)	44,090	44,090	43,352

《 茨城工場 》

取り組み項目	基準年(2020年度実績)	2021年度目標	2021年度実績	達成率	評価
電力消費量の削減(kWh)	67,830	67,830	71,186	95.3%	×
軽油燃費の向上(km/ℓ)	9.2	9.2	9.1	98.9%	×
一般廃棄物の削減(40ℓ袋)	1350 (40リットル/袋)	1337 (40リットル/袋)	—	—	—
化学物質不使用の継続 (トリクロエチレン)	0	0	0	100.0%	○
水使用量削減(m ³)	293	293	280	104.6%	○
環境に配慮された製 品の提案と製造	1件	1件	1件	100.0%	○
社員の技術力向上と5S活動	1回/月(12回/年)	1回/月(12回/年)	12回/年	100.0%	○

② 中・長期目標

※基準年は2021年2月～2022年1月

取り組み項目	2021年度(基準年度)	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
CO2排出量削減 ①+② (CO2) (kg-CO2)	43,352	基準年度数値1% 429.19	基準年度数値1% 429.19	基準年度数値1% 429.19
①電力消費量の削減(kWh) (CO2) (kg-CO2)	71,186 30,787	基準年度数値の維持	基準年度数値の維持	基準年度数値の維持
②化石燃料使用量の削減(ℓ) (CO2) (kg-CO2)	5,070 12,563	基準年度数値3% 4918	基準年度数値3% 4918	基準年度数値3% 4918
水使用量の削減(m ³)	280	基準年度数値の維持	基準年度数値の維持	基準年度数値の維持
一般廃棄物の削減 (40ℓ/袋)	—	データ収集	2022年度から1% 減	2022年度から2% 減
化学物質不使用の継続 (トリクロエチレン)	使用しない	管理	管理	管理
環境配慮製品の提案(件)	1件	1件	1件	1件
社員の技術力向上と5S活動	1回/月(12回/年)	1回/月(12回/年)	1回/月(12回/年)	1回/月(12回/年)

※電気の排出係数はウエスト電力:0.429Kg-CO2/kwh、東京電力:0.441Kg-CO2/kwhでした。

※環境目標、活動計画経営環境の変化に応じて随時改定可能とする

※本社は電気、水を使用していますが自宅兼なので算出していません。



IV 主要な環境活動計画の内容

- ①電力使用量削減
 - 事務所・現場等の昼休み時間の消灯
 - 空調設備を定期的に清掃・点検する
 - 空調設備の過剰使用をさけ適切な温度を保つ
 - 昼休み時、事務所の空調を切る
 - トイレ不使用時の電気の消し忘れ撲滅
 - 作業を離れる際は電気設備のON・OFFをこまめに行う。

- ②ガソリン・軽油使用量の削減
 - 燃料給油・走行距離数のチェック表を作成・記入する
 - 急発進急加速の禁止を遂行する
 - オイル交換等、定期的な車両の整備を行う
 - 効率的な配送ルートを計画・実行する
 - 空気圧のチェック

- ③一般廃棄物の削減
 - ミスプリント等の裏面利用
 - ごみの持ち帰り推進

- ④水使用量の削減
 - 小まめな開閉(流しっぱなしにしない)
 - 節水の啓蒙活動

- ⑤化学物質不使用の継続
 - プレスオイルの変更(揮発性の高いオイルへの変更)
 - トリクレンの不使用を継続する

- ⑥環境配慮製品の提案
 - クロムフリー材への切替提案



株式
会社

石崎製作所

ISHIZAKISEISAKUSHO

V 環境活動の取組結果の評価・次年度取組内容

- ① 電気使用量については売上が昨年比で110%とアップしている。売上、受注量増加に伴い電気の使用量がそれに比例して多くなっています。
ウエスト電気から東京電力に電気会社を变えることによりCo2排出量が減りました。また、夏の猛暑で使用量も増加していますが無理に節電ではなく効率よく電気を使用していくように昨年同様、指示していきます。
次年度は現在の取組みを継続するが売上UP率以上に増加しないようにします。
- ② 一般廃棄物は近隣から排出方法の変更を求められました。それによって近隣集積場から市が運営する『クリーンセンターみらい』へ持ち込み処理することとなりました。(かつて近隣集積場への排出の許可は得ていた)
産業廃棄物は2020年度と比較して19%ダウンすることが出来ました。
仕入先に梱包材の検討をしてもらったり、緩衝材を有効に使用してゴミを削減することが出来ました。
次年度はデータ取りとなりますが一般廃棄物が多くならないように取組みます。
- ③ 化学物質は継続して不使用を管理できました。
次年度も引き続き不使用を継続します。
- ④ 水使用量については基準年から23%の削減が出来ました。
バレル作業の内製化とウォーターサーバの利用推進を進めていましたが効率よく使用して、上手に節水できたのもよかったと思います。
次年度は本年度の水使用量維持を目標に計画を立てていきます。
- ⑤ 本年度もクロムフリー材の提案ができました。営業のスポット案件での提案ですので新規量産品の立ち上げの時はさらに提案していきます。
前年はクロムフリーの材料をどのくらい購入するかで計画を立てていましたが量産品に結び付かなかった為未達成に終わる傾向がありましたので何件提案することができたかに計画を変更しました。
達成が見える化できたので達成感が湧きさらなる提案に結び付いたと思います。
次年度も継続してスポット案件、新規案件での材質提案をしていきます。
- ⑥ 5S活動も定着化して全社員の意識が変わってきました。特に在庫倉庫の5S活動の進みが悪くいつまでも整理整頓が出来ていませんでしたが今年度は整理整頓もよくできてきているのではないかと思います。

また技術向上を目的に新たに技術者を雇い入れ技術の向上、継承にも力を入れました。

社員中心に活動してきた安全衛生活動もチームを刷新して新たな気持ちで取組み始めました。

メンバーを变えることにより新しい発想も出てきて活発な活動になってきました。
次年度も安全衛生の活動に力を入れて取組みます。



VI 環境関連法等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ◎茨城県生活環境の保全に関する条例
- ◎騒音規制法
- ◎振動規制法
- ◎小美玉市廃棄物の減量及び処理に関する条例
- ◎フロン排出抑制法

①適用される主な環境関連法等の遵守状況の確認及び評価
環境管理責任者により問題ないことを確認した。

②違反・訴訟等

2021年度において環境関連の違反、訴訟等は過去3年間ありません
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去ありません。

VII 代表者による全体評価と見直しの結果

2021年度は環境活動計画の『電力量の削減』、『燃費向上』、『環境配慮製品』、『化学物質使用量削減』、『一般ごみの削減』、『水道使用量の削減』、『ダンボールのリサイクル化』の計7項目のうち『環境配慮製品』、『化学物質使用量削減』、『水道使用量の削減』、『ダンボールのリサイクル化』の4項目が目標達成となりました。

昨年比で売上が増加したことにより電力使用量が増加しましたが売上の増加率以上に増加しない様に取り組みを継続していきます。

自動車燃料は燃費率を継続させるように取り組んできましたが0.1km/lダウンしました。大幅なダウンではないので取り組みの効果が出ています。維持できていると判断します。環境配慮製品の提案は量産製品に対しては切り替えが進んでいませんが営業スポット品に対しては毎月1件以上の提案が来ています。

化学物質使用量の削減については不使用を継続できています。

一般廃棄物は本年度から指定処理場が変更になりましたのでデータ集計をしていきます。産業廃棄物の処理については仕入先への梱包材の変更を検討してもらった結果、前年より19%ダウンすることが出来ました。水使用量については昨年から23%減少することが出来ました。全従業員のこまめな節水が身を結んだと思います。

全員参加の活動として『5S活動』『安全衛生活動』を継続しています。

社員各自が責任を持って行動する習慣がついてきたのが仕事上にも影響してきていると思いますので引き続き推進し、従業員の意識を更に高めみんなで安全に作業が出来る環境を作っていきます。

以上